

169 昭和9年2月23日 在中国有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

日中関係好転機運促進のため両国間航空連絡
問題を解決すべき旨汪兆銘へ申入れについて

上海 2月23日後発
本省 2月23日後着

第一(1) 第一三號(極秘)
一、二十一日汪兆銘ト會見ノ際往電第一一二號福建飛行場問題ヲ切掛ニ本使ヨリ此ノ問題カ常ニ日本側ヲ刺戟スル原因トナルハ日支兩國間ニ當然早ク實施セラルヘキ航空聯絡カ未タ實施セラレスシテ支那カ歐米トノ航空事業ノ合

作ヲ先ニシ日本側トノ關係ヲ顧ミサルコト又其一因ト認メサルヲ得ストテ兩國關係好轉ノ氣運促進ノ爲相互的性質ヲ有シ且相互ニ利益ヲ收メ得ヘキ案件トシテ先年殆ト協定迄漕付ケタル日支間ノ航空聯絡問題ヲ此ノ際至急解決シ度シ(無線聯絡ニ付テハ別電第一一四號^(編註)ノ通先方ノ意向モ略推測シ得ルノミナラス先方ハ無線問題開談ヲ種

トノ聯絡計畫ニ付考慮シタルコトアルヤモ知レサルモ現在ノ國內情勢ニテハ到底實現ノ見込無キコト判明シ差當リ國際飛行ニ付テハ着手セサルコトニ決定シ居レリトテ逃ヶヲ張リタルカ

四(3) 本使ハ更ニ日本ト歐米トハ地理的條件ニ於テ異ナリ諸外國トノ航空ニ先立チ當然真先ニ實施スヘキ性質ノモノナルコト日支間ノ航空ハ支那國內ノ長距離ノモノヨリモ却テ簡單且有益ナル可キコト及昭和七年中既ニ殆ト協定成立ノ程度迄話合出來タル經緯等ヲ説明シ尙貴國政府ニ於

テ假ニ一時國際航空ノ實施ヲ延期スル方針ナリトスルモ早目ニ會談ヲ進メ準備スル必要アル可シトテ再考ヲ求メタルニ汪ハ將來國際航空實施ノ時期來ラハ對香港及對日本トノ聯絡ヲ第一ニ實行スルコトシ度シトノミ答ヘ依然申入ニ應スル色ナカリシカ尙ニ三押問答ノ末汪ハ兎モ角交通部ヲシテ以前ノ經過ヲモ取調ヘ研究セシムルコトスヘシトテ話題ヲ轉シ先方ヨリ進ンテ無線聯絡問題(別電第一四號)ヲ切出シ來レリ

南京へ轉電セリ

二航空問題ヲ逃ケントスル模様察セラレタルニ付先ツ以テ航空問題ニ付話ヲ始メタリ貴見如何ト提議シタル處シテ拜承セリ然ルニ實ハ目下國民政府ノ航空事業ニ對スル方針ハ差當リ國內ノ事業ヲ促進シ國外ノ分ハ今暫ク着手セサルコトニ原則ヲ定メ居リ又一面國內航空事業ノ現状ハ餘り良好ナラス現ニ上海漢口線ノ如キハ毎月五萬元ノ缺損ニテ交通部ノ他ノ費用ヨリ之ヲ補填シ居ルカ如シ尙多大ノ努力ヲ要シ國外航空ニ對シ計畫ヲ進ム爾餘裕無キ狀況ナリトテ本使ノ申出ヲ拒否スルノ態度ヲ示セリ依テ本使ハ御話ハ一應尤モニ聞ユルモ事實ハ必シモ左様ニ了解シ得ストテ中國航空廠ノ資本ノ約半額カ汎米航空會社ヨリ出テ居ルコト上海、香港、馬尼刺線ノ試驗飛行ヲ了シ國際航空ノ計畫進メラレ居ルコト又歐亞航空會社ノ獨逸資本關係及新疆ヘノ試驗飛行等ノ點ヲ指摘シ更ニ日支間ノ航空ハ一般交通ノ現狀ニ觀テ上海(漢口)線等ノ比ニ非ス營利上ニモ相當有利ナルモノト認メラル旨ヲ説明シ考慮ヲ求メタルニ汪ハ成ル程既往ニ於テハ歐米

編注 別電第一一四号は第38文書。

170 昭和9年3月9日 在中国有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

日中航空連絡問題に關する李景樞前交通部總務司長談話について

上海 3月9日後発
本省 3月9日後着

第一四二號(極祕)
貴電第五二號ニ關シ

唐ノ話ハ當時武官ヨリ聞キ居リ御申出ノ眞意ソレト無ク取調ヘ中ナルカ八日李景樞ノ須磨ニ對スル談話中御参考トナルヘキ點大要左ノ通

「貴官南京御赴任後約一週間ヲ經タル頃朱部長ハ自分ニ對シ貴官ト交通部トノ間ニ日支無線聯絡ヲ開談シタル次第ヲ語ルト共ニ從來ノ經緯モアリ自分ニ於テ航空聯絡ノ方ノ研究ヲ遂ケ置クヘキ旨命令アリタルヲ以テ自分ハ本件ハ先年ノ協定及契約ヲ其ノ儘實行スレハ可ナル旨答ヘタル處部長ハ借款額丈ケハ増加ノ必要アルヘシト云ハレタルニ付自分

モ爲替相場其ノ他ノ關係上増額方必要ナルヘシトノ意見ヲ
上申シ置キタル處(以上南京發閣下宛電報第九九號ノ二參照)其後數日ヲ經テ朱部長ヨリ航空問題ノ方ハ部外(須磨ニ於テハ軍政部方面ナルヘシトノ印象ヲ得タル由)ニ反対アリ實現仲々困難ナラントノ話アリタルカ(往電第一一三號ノ二参照)私見ニ依レハ交通部關係者ニ於テハ日支航空聯絡ノ實現ヲ希望シ居ルモノノ如シ云々

南京へ轉報セリ

171 昭和9年3月12日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

華北における通車・通郵問題は暫く後回しと
し日中航空連絡問題に着手したい旨唐有壬申
出について

上海 3月12日後発
本省 3月12日後着

第一五四號(極秘)
往電第一一三號ニ關シ

十一日唐有壬本使ヲ來訪シ

一、先ツ唐ハ先般貴公使ヨリ河北ニ於ケル通車通郵等ノ諸問題ニ付汪部長ノ注意ヲ喚起セラレタル處此ノ問題ニ付テハ政府部内ノ空氣面白カラス殊ニ滿洲國ノ帝政實施ニ依リ一般ノ感情ハ惡化ト迄ハ言ハサルモ一層神經過敏トナリ居ル爲之カ解決促進ハ頗ル困難ナル狀態ニ置カレ居レリトテ汪及黃郛ノ連帶論孫科一派ノ反汪策動等内部ノ事情ニ付一通り説明ヲ爲シタル後唐ハ語ヲ改メテ元來滿洲國ノ存在問題ハ日支何レヨリ持出スモ到底解決出來サルモノトシテ且下兩國共此ノ話ハ持出サヌコトナリ居ル次第ニテ從テ滿洲問題ト關係アル通車通郵等ノ問題モ同様困難ノ性質ヲ伴フモノナルコト既ニ御承知ノ通ナリ就テハ此ノ際滿洲ト關係アル右問題ハ暫ク後廻シトシ日支間直接關係ノ問題ヲ先ニ相談スルコトニ致度先般汪部長ニ御話ノ内無線聯絡問題ハ既ニ相談中ニ付此ノ際航空聯絡問題ニ着手スルコトニ願ハレマシキヤ

實ハ先般汪部長ヨリ航空問題ハ困難ナル旨申上ケタルモ其後自分(唐)ヨリ從來ノ交渉經過等説明シタル結果部長モ大体ニ異存無キ意嚮ヲ洩シタル(唐ハ初メ部長モ同意セリト述へ後ニ右ノ如ク訂正セリ)ニ付此ノ點一應日本

政府ノ意嚮ヲ聽合サレタシト申出テタリ

三、右ニ對シ本使ハ一應ハ滿洲ノ帝政ニ關スル先方ノ言分ヲ駁シタル上通車通郵等河北問題ノ急速解決ノ必要ヲ說キ之カ解決ヲ航空問題開談ト交換的ニ引延サントスル考ナラハ到底同意出來スト答ヘタルニ唐ハ決シテ交換的意味ニアラス純然タル日支間直接ノ問題ニシテ且出來得ル問題タル航空聯絡ヲ先ニシ滿洲問題ニ關聯セル通車等ノ問題ヲ一時後廻シ時機ヲ見ルコトシタキ迄ナリト辯明シ尙航空問題ハ軍事方面ニモ關係有ルニ付自分(唐)ハ近ク南昌ニ赴キ蔣介石トモ相談スル積リナリト述ヘタリ依テ本使ハ然ラハ河北問題ヲ放任スルノ意ニアラスシテ取扱ノ順序トシテ航空問題ヲ先ニセントスル意ナリヤト念ヲ押シタルニ唐ハ其通りナリト答ヘタルカ更ニ本使ハ假ニ航空問題ニ着手スルニシテモ再ヒ新タナル案ヲ持出ス時ハ徒ニ時日ヲ費ス惧アリ

(3) 成ルヘク前回殆ト成立迄漕付ケタル協定案ニ基キ急速ニ解決スルコトシタシト述ヘタルニ唐ハ同感ノ意ヲ示シタルニ付本使ハ然ラハ兎ニ角一應政府ノ意嚮ヲ聞合スコトトス可シト應シ置ケリ

四、右談話中唐ハ航空問題開談ニ關スル申出ハ直接汪ノ意嚮ヲ受ケタルモノニ非ス概ニ唐ノ思付ナルカ如ク裝ヒ居ルモ貴電第五二號等ノ我方武官ニ對スル話モアリ旁汪モ大体右ニ腹ヲ決メ居ルモノト認メラル處此ノ際本件會談ヲ行フモ先方ノ内部的事情乃至掛引ニ依リ妥結困難ナルカ如キコトアラハ直ニ通車問題ノ解決ヲ迫ル途モアリ旁我方ニ於テ通車問題等ノ促進ニ多少ノ手心ヲ加フル方針ニテ先方ノ右申出ヲ應諾スルコト然ル可キヤニ思考セラルルニ付右御研究ノ上何分ノ儀御電示相成度シ(以上陸軍武官モ同意見ナリ)尙唐ハ十二日上海發約二十日ノ豫定ニテ天津北平ニ直行シ更ニ漢口ヲ經テ南昌ニ赴キ蔣介石ト會見ノ上歸寧スルニ付其ノ上ニテ更ニ本件ニ付本使ト再會シ度キ由語リ居タリ

南京へ暗送セリ

172 昭和9年3月12日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

李景縱より日中航空連絡用飛行場用地として
日本側所有地の提供意向照会について

(^① 第二〇三號(極秘級)
公使發閣下宛電報第一四二號ニ關シ

南京 3月12日後発
本省 3月13日後着

御参考迄
支へ轉電セリ

ノ氣運アリ現實ニハ相當ノ困難ヲ伴フヘク之ヲ押切ルニハ

上海滯在中十一日李景樅本官ヲ來訪シ私見ナルカ日支航空聯絡ハ他國ニ率先シテ開始スル譯ニモアリ種々國際的故障ヲ生スル而已ナラス一方徐培根、毛邦初等軍部方面ニ反對

ノ氣運アリ現實ニハ相當ノ困難ヲ伴フヘク之ヲ押切ルニハ昭和六年ノ協定ニ重大ナル變更ヲ加フルコト必要ナルヘシ

一方本件實現ハ日支關係好轉ノ第一歩トモナルモノナレハ前記協定中借款ニ關スルモノハ廢棄トシ飛行場候補地タル

滬江大學附近敷地ノ相當部分カ日本側所有地(公大紡績所

有地)ナルニモ顧ミ之ヲ日本側ヨリ交通部ニ無償寄附セラ

ルレハ基本協定ノ方ハ其ノ儘ニテ差支無カルヘシト思考ス

交通部方面トモ更ニ協議ノ必要モ有レハ明日赴寧ノ積リナ

リト申出タルカ同十一日唐有壬ヨリ公使ニ對スル本件談話ノ次第二モ顧ミ何等深入セス先方ノ言分ヲ聞キ置クニ止メ

(欄外記入)
タルカ支那側ニテハ「レシプロ(シ)ティイ」ヲ別ニ恩恵ナリトハ考ヘ居ラサル様ノ印象ヲ得タリ

(^① 第二一一號(極秘)
往電第二〇三號ニ關シ
十三日夜李景樅突然本官ヲ來訪シ先日御電話ノ土地提供方ノ件ニ付考慮ヲ盡サレタリヤト尋ネタルニ付本官ヨリハ公使發貴大臣宛電報第一五四號ノ次第ヲ明ス事ナク仄聞スル所ニ依レハ航空聯絡開始方ニ付原則的ノ相談貴國側ニ於テ進

南京 3月14日後発
本省 3月14日後着

173 昭和9年3月14日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

交通部長より日中航空連絡問題の下交渉開始
方内諾を得た旨李景樅申出について

南京 3月14日後発
本省 3月14日後着

(^① 第二一一號(極秘)
往電第二〇三號ニ關シ

十三日夜李景樅突然本官ヲ來訪シ先日御電話ノ土地提供方ノ件ニ付考慮ヲ盡サレタリヤト尋ネタルニ付本官ヨリハ公使發貴大臣宛電報第一五四號ノ次第ヲ明ス事ナク仄聞スル所ニ依レハ航空聯絡開始方ニ付原則的ノ相談貴國側ニ於テ進

南京 3月14日後発
本省 3月14日後着

(欄外記入)

航空ハ全部適當立案ノ上適當ニ押シ付クルノ方法ヲトルコト前回ノ最後ノ分一應拝見シ度シ

行中ナル由ニ付右決定ヲ俟チ條件等ノ相談ヲ致度シト考ヘ居レリト應酬シタルニ李ハ極秘ノ話ナルカ唐有壬カ南昌ニ赴キ蔣介石ト本件ニ關スル相談ヲ遂ケントノ消息ヲ確聞シ居ル處斯テハ軍政部ハ勿論立法院等ヨリモ反對有ルヘキハ必定ニテ出來ル相談モ打撲シタルヘク憂慮セラルル次第ナリ依テ自分ハ十二日以來朱部長ニ對シ二回モ本件促進方提議シタルカ同部長ハ貴官トノ交誼ニ鑑ミ無線問題ヲ話合フ事トナリ居レハ先ツ以テ本件ハ後廻シト致度シトノ意見ヲ述ヘタルニ付自分ヨリ再應先年ノ契約ヲ復活セシムレハ足ル點並右契約ハ自分ニ於テ處理シタル點ヲ指摘シテ再考ヲ促セル處

然⁽²⁾ハ先ツ自分(李)ニ於テ貴官トノ間ニ下相談ヲ進メ差支無カルヘシトノ内諾有リタリ又事實上自分カ歐亞航空公司

ノ經理トシテ提言セハ假ニ反對有ルモ之ヲ押切ルコト左シテ困難ナラサル可ク殊ニ貴方ヨリノ土地ノ提供有ルニ於テハ(尙土地ノ提供ヲ受クレハ格納庫其ノ他ノ設備ハ支那側ニテ爲スハ勿論ナリ)軍政部其ノ他ニ對シテモ充分渡ヲ着

ケ得ル自信モ有ル次第ナレハ自分ノ手ニテ本件ヲ處理スルコト差向最モ成功ヲ期シ得ル方法ナリト思考シ居リ朱部長

ニ於テモ大体同様ノ見解ナルカ如キ處實見如何(ト)再三念ヲ押シタルニ付本官ヨリ貴國內部ノ事情ハ合點行キ兼ヌルモ成ル可ク速ニ簡便ナル方法ヲ選フハ双方ノ爲ナレハ一方唐次長話合ノ經過ヲ見ルコト、同時ニ御話ノ土地等ノ點ニ付テモ篤ト考慮ヲ加フヘキコト、出來得ル限り前回同様ノ案ニ依ルコト致度シト然ルヘク應酬シ置キタルカ往電第九九號及第一一一號朱、汪等ノ本官ニ對スル應酬振ト本契約起草者タル李ノ折衝振(李ノ懷算段ハ勿論(脱?)ナル可シ)等ヨリ見レハ大體交通部方面ニ於テハ本件ヲモドウカシ度キ下心ヲ有スルヤニ認メラルルニ付此ノ上ノ應酬振ニ付至急御回訓相成度シ

支へ轉電セリ

174 昭和9年4月2日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

中国側よりの日中航空連絡用飛行場用地とし
て日本側所有地提供要請の背景とこれに對する我が方対処策について

上 海 4月2日後発
本 省 4月2日後着

第二三四號(極秘)

一、該土地ハ單ニ地勢地質等ノ點ヨリ見テ本件飛行場ニ利用シ得ルモノト認メラル處市街ニ接近シ店舗埠頭又ハ工場敷地トシテ極メテ有利ノ位置ニ在リ從テ地價モ高ク之カ買收ハ勿論借上ケニモ相當困難且多額ノ費用ヲ要スヘク(買收又ハ借上ヶ可能ナルヤ否ヤハ貴地本社ノ意嚮ヲ聞合ス必要アルヘク當地ニテハ取調ヘヲ差控ヘ居レリ)營業本位ノ飛行用地トシテハ採算困難ナルヘク一面該土地ノ利用效果ノ點ヨリ見テ此ノ種飛行場ニ充當スルハ餘リニ勿體(脱?)過クル感アリ且我方權益保持上ニモ不利益ナルヤニ認メラル

二、尤モ本土地ノ無償提供可能ナルニ於テハ支那側ヲ満足セシメ航空問題ノ交渉促進上好都合ナルヘキ處李景権カ該

土地ヲ候補地トシテ申出テタルハ敷地難ト言フヨリハ寧ロ右ノ如キ形勝ノ土地ヲ我方ヨリ取上クルコト本件交渉ニ於ケル交通部ノ對内的立場ヲ善クスル外孰レノ點ヨリスルモ支那側ニ取り損ノ無キ話ナリトノ考ヘヨリ出テタ

有吉公使ヨリ左ノ通り

十八日汪兆銘ト會談ノ際本使ハ南京發往電第三六八號六ノ

談話ニ引懸ケ日支航空聯絡問題ニ對スル研究ノ結果(二月

二十一日會談御參照)如何ト質シ尙既ニ無線問題モ交渉進行中ナルカ更ニ類似ノ問題タル本件ノ解決ヲ計ル事ハ兩國

ノ猜疑心ヲ除ク上ニモ多大ノ效果有ル可キ旨述ヘタルニ汪

ハ航空問題ハ其ノ後朱交通部長トモ相談シタルカ前回ノ會談ノ節申上ケタル通り支那ハ未夕國際航空ヲ實施スル程ノ餘裕無キ狀態ニ付之力會談ハ今暫ク見合度尤モ將來國際航

空實施ノ時期到来ノ際ハ眞先ニ日支間ノモノヲ相談スル考

ナルニ付右ニ御了承ヲ請フ旨答ヘ右ニ對シ本使ヨリ之カ實

施ノ兩國ニ利益有ル事國交改善ニ對スル影響等ニ關シ説明ヲ加ヘ考慮ヲ促シタルモ汪ハ前回ト略同様ノ辯解ヲ繰返シ

應スル色無カリシカ本使ハ尙成ル可ク早日ニ會談方更ニ考慮ヲ加ヘラル様希望シ置ケリ

北平へ轉電シ支へ轉報セリ

南 京 4月20日前発
本 省 4月20日前着

第三六九號

176 昭和9年5月22日 在南京須磨總領事より
本 省 5月22日前着 広田外務大臣宛(電報)

日中航空連絡問題に対する汪兆銘の消極的態度について

べきとの朱家驛意向について

南 京 5月22日前発

第五二一八號(編註)
往電第四八五號ニ關シ

本二十一日朱家驛ト會談ノ際冒頭往電ニハ關係無ク豫テ本官着任當時ノ會談(往電第九九號)ノ經緯モアリ無線聯絡協定ヲ成立セシメタル今日是非トモ日支航空聯絡ヲ實現セシムルコト必要ナリト切出シタル處朱ハ本日ハ全然親友トシテ打明ケテ話ヲスル次第ナルカ無線聯絡協定モ單ナル技術的事務上ノ問題トシテ處理シタレハコソ比較的速ニ出來上リ又行政院會議ニモ附議セス自分限リニテ完了シタル次第ナルニ付テハ航空聯絡モ所詮此ノ要領ニ依ルコト日支關係ノ現状ニ鑑ミ最モ得策ナリト思考セラル處此ノ點ヨリセハ曩ニ日支航空聯絡協定案ヲ作り上ケタル前交通部總務司長李景権カ現ニ歐亞航空公司ノ總經理ナルノ事情ハ最モ便

ルモノトモ想像セラレサルニアラス此ノ點ハ特ニ注意ノ必要アリ他面本件飛行場トシテ貴電第七九號ノ四ノ龍華又ハ虹橋ノ既設飛行場ヲ利用スルコトモ一案ナルヘク若シ又右カ技術上困難ナリトスルモ本件飛行用地トシテハ吳淞寄リノ地方又ハ上流地方ニ遙カニ安價ニテ手ニ入レ得ル土地鮮カラサルヘキニ付此ノ際支那側ニ對シテハ本土地ノ買上ヶ又ハ借上ヶ困難ナルヲ理由トシ一應既設飛行場ノ利用又ハ他ノ候補地ノ選定ヲ爲サシムル様仕向クルコト妥當ナルヤニ思考セラル

三、尙本土地ト軍部側トノ關係ニ付當方ニテモ貴電第七九號ノ三ト略々同様ノ聞込ミアリ一應當地武官側ニ聞合セタル處何等此ノ種ノ約束等無シトノコトナルカ尙爲念中央軍部側ニ付御聞合セ相成度シ

利ニシテ折角李ト技術上ノ協議ヲ遂ケ置カルルコト然ルヘキカ(歐亞航空公司董事長黃慈泉トモ御話アラハ幸甚ナリ)實ハ歐亞航空公司ハ新疆方面ノ事態不安ナル爲豫テ計畫中ナリシ定州迪化莫斯科經由巴里ニ至ル線ヲ未タニ實現シ得サルノミナラス蘇聯邦側ニモ最近新疆ヨリ莫斯科經由歐洲行ノ航空路ヲ好マサルノ風潮起リ本計畫ハ實現益困難トナリ目下ノ處國際航空三ハ相當時日ヲ俟ツノ要アル實情ナレハ此ノ際日本ト率先聯絡航空ヲ開設スルハ先ツ困難ナルヘク又支那獨自ニテ「パイロット」ヲ養成シ之ヲ國際航空ニ當ラシムル迄ニ並ナラヌ準備ヲ必要トスル一方歐亞、中國兩公司トモ財政不如意ノ爲支那内地ノ航空路維持ニモ窮シ居ル實狀ナレハ果シテ何時頃日支航空聯絡ノ實現ヲ期シ得ヘキヤ見當ツカサル次第ナリ尤モ之ヲ促進スルlineハ政治的交涉ニ聊カモ關聯セシメス技術的問題トシテ取扱ハルコト必要ナリト繰返シ熱心ニ述ヘ實ハ今回南昌ニ赴キ蔣介石ニ無電聯絡ノ成立ヲ傳ヘ且之カ日支關係ニ及ホスヘキ好影響ニモ言及シ置キタルカ自分ヨリ更ニ機ヲ見テ日支航空聯絡實現ニモ乘出シ度キ旨ヲ述ヘ置キタル次第ナリト附言シ言外ニ李景樅ノ申出(往電第二〇三號)ニ付考慮方ヲ促

(欄外記入)

二十七日突然李景樅ハ昨二十六日朱家驛ノ命ニ依リ來寧セシ所日支航空連絡ニ關シ技術上ノ見地ヨリ貴官ト接觸方話アリタルヲ以テ態々來訪シタル次第ナリト前提シ左ノ通り會談セリ

一、朱家驛ハ何等公式ニハ言ハサルモ先ツ豫テ自分等ノ立案セル協定案ニ依リ日支航空連絡ニ可能ナル條件ヲ協定シ置クコト然ルヘシト内話シ唯朱モ

(一)國際航空ハ未タ何レノ國トモ開始シ居ラサル際日本トノ間ニ先鞭ヲ着クルハ至難ナル點

(二)日支關係ノ現狀ニ於テハ日本ト協定ヲ成立セシムルハ少クトモ時期尙早ナル點

(三)一般民衆モ日本トノ航空連絡ヲ上海事件ニ於ケル日本

軍ノ空中攻撃ト切離シテ考ヘ得サル實狀ニアリ交通部

ハ兎モ角其ノ他ノ政府部内ニ於テハ之ヲ航空權ノ侵害

トナルヘシト懸念シ居ル向モアル點等ヲ心配シ居ル次第ナリ

三、尤モ自分ハ歐亞航空公司ノ總經理トシテ一日モ速ニ以上

ノ困難ヲ排シ連絡ヲ實現シ度ク實ハ極秘ナルカ目下ノ所

歐亞航空公司ノ經理八月六、七萬元、中國航空公司九萬

利ニシテ折角李ト技術上ノ協議ヲ遂ケ置カルル處何レ機ヲ見テ李トキカ(歐亞航空公司董事長黃慈泉トモ御話アラハ幸甚ナリ)實ハ歐亞航空公司ハ新疆方面ノ事態不安ナル爲豫テ計畫中ナリシ定州迪化莫斯科經由巴里ニ至ル線ヲ未タニ實現シ得サルノミナラス蘇聯邦側ニモ最近新疆ヨリ莫斯科經由歐洲行ノ航空路ヲ好マサルノ風潮起リ本計畫ハ實現益困難トナリ目下ノ處國際航空三ハ相當時日ヲ俟ツノ要アル實情ナレハ此ノ際日本ト率先聯絡航空ヲ開設スルハ先ツ困難ナルヘク又支那獨自ニテ「パイロット」ヲ養成シ之ヲ國際航空ニ當ラシムル迄ニ並ナラヌ準備ヲ必要トスル一方歐亞、中國兩公司トモ財政不如意ノ爲支那内地ノ航空路維持ニモ窮シ居ル實狀ナレハ果シテ何時頃日支航空聯絡ノ實現ヲ期シ得ヘキヤ見當ツカサル次第ナリ尤モ之ヲ促進スルlineハ政治的交涉ニ聊カモ關聯セシメス技術的問題トシテ取扱ハルコト必要ナリト繰返シ熱心ニ述ヘ實ハ今回南昌ニ赴キ蔣介石ニ無電聯絡ノ成立ヲ傳ヘ且之カ日支關係ニ及ホスヘキ好影響ニモ言及シ置キタルカ自分ヨリ更ニ機ヲ見テ日支航空聯絡實現ニモ乘出シ度キ旨ヲ述ヘ置キタル次第ナリト附言シ言外ニ李景樅ノ申出(往電第二〇三號)ニ付考慮方ヲ促

進スル底意ナルヤニモ見受ケラレタル處何レ機ヲ見テ李トモ話合スヘキカ先般來朱及李ヨリ受ケタル印象ニ依レハ兩人ハ最近餘程密接ナル關係アルモノノ如ク或ハ朱及顧司長ノ組合セニテ無電聯絡ヲ遂ケタルト同様ノ仕組ヲ考ヘ居ルヤニモ存セラルニ付不取敢電報ス支へ轉電セリ

編　注

五月二十一日發在南京須磨總領事より広田外務大臣宛電報(号外)において、本電は「極秘トセラレタシ」とされている。

177 昭和9年5月28日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日中航空連絡問題に關する(交通部側懸念と)

れに對する我が方反駁について

(一)第五七二號(極秘)
(往電第五四二號ニ關シ)

南京　5月28日前發
本省　5月28日前着

元ヲ要シ日支連絡ノ如キ實收ヲ得ヘキ線ヲ開始スルニアラサレハ財政上モ困難ナル立場ニアリ旁兩國連絡ノ實現ヲ期シ度キ處之カ爲ニハ前項朱ノ懸念ヨリスルモ政治的折衝ヲ避ケ貴官ト交通部トノ間ニ無線協定ヲ成立セシメラレタルト同様ノ技術的方法ニ依ルノ外無シト思考スト述ヘタリ

三、右ニ對シ本官ヨリ大体ノ「ライン」ハ先般朱家驛トモ話合ヒタルカ御話ノ如キ前記第一項

(一)ハ歐亞航空公司ノ如キハ現ニ「ルフトハンザ」トノ關係ヨリ國際航空ニ當リ居レリトモ言フヘク又中國公司モ米國資本トノ關係ヨリ實質上ニハ國際航空ノ域ニ達シ馬尼刺トノ連絡飛行モ遠カラサルヘク他方英佛ニモ色氣ヲ出シ居ル實狀(往電第五七一號)ニテ現ニ朱ノ話ニ依ルモ中國航空公司側ヨリ上海廣東線ヲ香港ニ接續方申出テタル事實サヘル譯ナレハ關係密接ナル日本トノ航空ニ先鞭ヲ躊躇スルノ理由無シ

(二)ハ無線協定實現セル今日今更日支協定尙早ナリトハ理由無ク現ニ本官着任當時朱部長トノ話合ニテハ無線ト同時ニ航空ニ關シテモ協定ヲ進ムヘキ筈ナリシヲ航空

ノ方ハ途中ヨリ通車、通郵等河北問題ノ困難ヲ避ケン
トスル駆引ノ具ニ供セラレタル形跡明カナリ而モ河北
問題トテモ自然解決ノ途ニ就ケル今日本連絡協定ヲ遷
延スヘキ謂無シ

(三)上海事件ノ記憶ヲ云爲スルハ全然無關係ノ事實ヲ引出
スモノニテ又本協定ヲ相互的飛行連絡ト爲サハ航空権
ノ問題アリ様無シ

等ノ見地ヨリ政治上ヨリスルモ最早之ヲ遷延セシムヘキ
理由無キ譯ナルカ之ト離レ技術問題トシテ解決スル方容
易ナリトノ見解ハ朱部長ヨリモ承知シ居リ本官トシテモ
異存無シト答ヘタリ

四、次テ李ヨリ往電第二二一號申出ニ對スル我方意嚮如何ト
尋ネタルニ對シ本官ヨリ實ハ御申出ハ政府ニハ未タ取次
キ居ラス又同地所有會社ニ當リ見ル積リナリシカ之トテ
機微ナル關係アリテ其ノ運ニ至ラス自然何等確定的御答
ハ出來サルモ無償寄附等ハ勿論問題ニナリ得サルハ明カ
ナルモ一方飛行技術上ヨリスルモ同地ハ狹隘ニテ永久ノ
役ニハ立タサル趣ナリト答ヘタルニ李ヨリ實ハ自分モ同
地ハ幅狭ク現狀ニテハ飛行場ニ適セサルモ幸ヒ同地附近

五、冒頭往電其ノ他屢次ノ本件報告ニ徵シ實ハ朱家驛ノ内意
ヲ受ケ支那航空關係財政難切抜ノ爲最近斯ク促進シ來レ
ルヤニ認メラル處場合ニ依リテハ我方モ相當額ノ借款
増額ヲモ辭セサル腹ナレハ案外無線ノ例ニ倣ヒ技術的協
定ニ漕着ケ得ヘシト思考セラレ何レニスルモ李モ何等
「コミット」セサル程度ニテ而モ充分我方ニ引着ケ置ク
必要アリト存セラル
右不取敢

支へ轉電セリ

(欄外記入)

極力促進ノコト(好機會ナリ)

178 昭和9年5月31日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日中航空連絡用飛行場用地問題に関する李景
権との協議について

第五七七號 南京 5月31日後発
本省 5月31日後着

往電第五七二號二關シ

二十九日上海(ヨリ)ノ求メニ依リ李景権ト會見セルニ李ハ
具体案ヲ取急キ來週中ニモノニシタシト考ヘ居ル處再應伺
ヒ度ハ公大ノ土地ヲ利用出來マジキヤノ點ナリト述ヘタル
ヲ以テ本官ヨリ同土地カ技術上狹隘ナルコト貴方ニ於テモ
御承知ノ通ナル處軍工路ニ限ラレ居ル關係上繼キ足シ不可
(欄外記入)能ナレハ用地トシテ適當ナラスト述ヘタルニ李ハ軍工路ノ

改變ハ支那側ノ手ニテ何トカシ得可シトテ執拗ニ同様趣旨
ヲ繰返シタルカ本官ヨリ軍工路ノ建設ハ一部着手濟ミノ由
ナレハ龍華ノ方然ル可キ旨主張シ置キタリ
尙李ハ土地問題以外ノ條件ニ付テハ二、三字句ノ修正ヲ行
ヘハ豫テノ協定案ヲ踏襲シ得ル見込ニテ本日赴寧シ朱家驛
トモ打合ス豫定ナリト述ヘ居タリ
支へ轉電セリ
(欄外記入)
或ハ川崎用地ハモノニナラズヤ

179 昭和9年7月8日 在南京須磨總領事より

日中航空連絡実現希望を我が方より私信形式

にて李景権宛提出するよう同人提議について

南京 7月8日後発

本省 7月8日後着

往電第五二八號二關シ
第七八一號(極秘扱?)

六日上海ニテ李景権ト會談ノ要領左ノ通

「本官ヨリ約束ノ龍華飛行場擴張計畫ハ如何ナリ居レリヤト尋ネタルニ李ハ擴張案ヲ早速作成ノ筈ナリシモ政府方面ヨリ朱家驛トハ明示セス(何等カノ手懸ヲ作ラサル以前ニ右案ヲ日本側ニ示スハ面白カラストノ意見出テタリ就テハ豫テ無線聯絡ニ關シ貴官ヨリ支那側ニ申入レタル例ニ倣ヒ貴官私信ノ形式ヲ以テ日支航空聯絡ノ實現ヲ希望スル旨歐亞航空公司經理トセス私人トシテノ自分ニ宛テ申入レラルコト望マシク成功確實ナリトノ見極ヲ着ケタル上双方共兩國關係當事者ヲ代理スルコトニ早變リセハ萬一不首尾ニ終ルモ問題トハナラサルヘシト述ヘタルニ付本官ヨリ手懸ヲ着ケタシトノ貴方希望ハ尤モナレハ考慮シ置クヘシト應酬シ置キタリ

三、次テ本官ヨリ夫レニシテモ龍華飛行場擴張ノ大体ノ目當ニテモ承知出來レハ好都合ナリト述ヘタル處李ハ右擴張案ハ早速作リ上クル豫定ナルモ先ツ日本側ヨリ擴張ノ爲支出シ得ル金額ヲ承知スルコト肝要ニテ先年交渉ノ際モ借款額ヲ大体示サレタル譯ナレハ今回モ支出シ得ル概算額ヲ先ツ承知シタシト執拗ニ述ヘタルヲ以テ本官ヨリ夫

四、就テハ前記一ノ點ニ付公使トモ打合ヲ遂ケタル處李ニ於テ本官ノ書翰ヲ何等カ利用スルノ惧アラハ兎モ角同人ハ先年交渉ノ際ノ當事者ニテ現ニ歐亞航空公司ノ經理ナルノミナラス冒頭往電ノ通り朱家驛モ本官ニ對シ李ト話合フコト然ルヘシトノ意嚮ヲ漏ラシ居タル次第モアリ又無線聯絡ノ場合ノ如ク我方ヨリノ申入ハ形式的ノモノニ過キスト思考セラルニ付テハ此ノ際簡單ニ「日支航空聯

絡ハ兩國相互ノ利益ノ爲一日モ速ニ實現セラルヘキモノナルニ付先年右聯絡協定案作成ノ衝ニ當リタル貴下ニ於テ之カ早急實現方ニ付慎重ノ考慮ヲ加ヘラレンコトヲ希望ス」位ノ趣旨ヲ申入ルルコト然ルヘシトノ結論ニ到達セルニ付テハ右ニ取計ヒ然ルヘキヤ至急御回示相成度シ支ヘ轉電セリ

180 昭和9年7月14日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本航空連絡の実現を希望する我が方私信李
景権へ手交について

南 京 7月14日後発
本 省 7月14日後着

(¹) 第七九七號

往電第七八一號及貴電第一三〇號ニ關シ

一、十三日夜李景権本官ヲ來訪セルニ依リ冒頭往電四ノ趣旨ニ基ク十二日附私信ヲ手交セル處李ハ早速技術者トシテ出來得ル限りノ努力ヲ試ムヘキモ參謀本部、海軍部方面ハ本件ヲ軍事的見地ヨリノミ解釋シ居レルヲ以テ前途ニ

相當ノ困難アリト懸念セラルモ無線聯絡ノ前例ニ倣ヒ技術的ニ取扱ヘハ或ハ右難關モ乘切り得ルヤニ思考セラルト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ政治問題トシテ取扱ヘハ御申出ノ如キ困難アルヘキモ假ニ政治的ニ考慮スルモ日支航空聯絡ノ實現ハ當然ノコトナリ軍事的考慮ヨリ反対スルカ如キハ取ルニ足ラサル謬論ナレハ機會アル毎ニ公使ヨリ支那側ニ對シ是正ニ努ムル筈ナルモ先ツ交通部ニ於テ技術問題トシテ諸般ノ準備ヲ整ヘラルコト然ルヘシト應酬シ置キタリ

二、次テ李ヨリ龍華ニ付テハ實ハ既ニ擴張計畫ヲ有シ居リ近ク實行ニ移ス方針ナリシ矢先ニ貴官ヨリ同地ヲ使用方申出アリシ次第ニテ大體擴張ノ腹案ハ決定セルモ百萬元支出(冒頭往電二)ノ見込着キテ後右ニ取掛リ度キ心組ナリト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ龍華ヲ擴張ノ計畫アリシコトハ新聞ニ依リテ承知シ居タルモ右カ事實トセハ日支航空聯絡ノ爲特別ノ支出ハ必要ナラサルヘク殊ニ百萬元ト云フカ如キハ多額ニ失スト述ヘタル處

(²) 李ハ日支航空聯絡ニ要スル正確ノ費用ハ計算シ難キモ假ニ申上ケタル百萬元位アラハ歐亞航空公司ノ責任者トシ

テ自分ヨリ本件ヲ提議シ通過セシメ得ヘシト思考シ居ル
次第ナルヲ以テ右支出ニ關スル日本側意図ヲ承知シ度シ

ト述ヘタルニ付本官ヨリ日本當局ニ當リ見ルヘキモ本件

實行ノ目度立タサル限り確定的數字ハ得ラレサルヘシト

述ヘタルニ李ハ借款額以外ノ點ニ付テハ舊契約通ニテ差

支ナキ見込ナリト繰返シ述ヘ居タリ

三、本官ヨリ歐亞航空公司カ蘇支間ノ聯絡ヲ急速實現方計畫

中ナリトノ聞込アル處如何ト尋ネタル處(往電第六九八

號四及往電第七〇五號三御參照)實ハ盛世才ニ對シ再三

其ノ煮切ラサル態度ヲ詰リ居ルモ出來得レハ最近ノ機會
ニ自分カ實地調査ヲ行ヒ度シト思ヒ居リ既ニ交通部長ヨリ
盛ニ電報セルヲ以テ返電アリ次第出發スル積リナリ新疆
省カ本件ニ關シ蘇聯方面ヨリ特別ノ保護ヲ受ケ居ルヤ
ノ情報ハ自分モ耳ニシ居ルモ恐ラク事實ニアラサルヘシ
ト答ヘ居タリ尙本官ヨリ汪院長ヨリ公使ニ對シ國際航空
聯絡開始ノ際ハ真先ニ日支聯絡ヲ考慮スヘキ旨口約セル
ニモ顧ミ**盛界**(往電)才トノ話合進行中モ日支聯絡實現ノ歩ヲ進
ムルコトヲ怠ラサルヘキ旨念ヲ押シ置キタリ

支ヘ轉電セリ

182 昭和9年8月1日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)
日中航空連絡問題は中央政府が處理する問題
であり華北・滿州間連絡などに先んじて考慮
されるべきとの唐有壬言明について

南京 8月1日後発
本省 8月1日後着

第八四三號(部外秘)

一日唐有壬ノ本官ニ對スル内話要領左ノ通

日支間ノ交通ヲ頻繁ナラシムルコトハ兩國友好關係ノ維持
増進ニ大ナル效果アルコト勿論ニテ數日前無線聯絡ニ成功
セル交通部ヨリ行々ハ漢口ニモ無線臺ヲ設置シ聯絡範圍ヲ
擴ムヘキ旨ノ申出アリタリ日支航空聯絡ニ付テハ事實上反
對意見アルモ之ヲ實現シ上海ヲ陸海空ノ交通ノ中心點タラ
シムルコト然ルヘシトノ大體ノ意見纏マリ居ル次第ナリ但
シ御注意アリ度キハ本件ハ中央政府カ處理スル問題ナレハ
地方的問題例ヘハ華北ト滿洲トノ聯絡等ニ先ンシテ考慮セ

181 昭和9年7月26日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

國際航空連絡は先ず日本との間で行なうべく
諸外國よりの申出は拒絕している旨朱家驛言

明について

南京 7月26日後発
本省 7月26日後着

第八三四號

往電第七九七號ニ關シ

本廿六日他用ヲ以テ朱家驛ト會見ノ際先方ヨリ航空聯絡ニ
關スル日本側希望ハ能ク承知シ居レリ(駆引上カ本官書面
ニ付テハ觸レサリキ)先般來佛國會社ヨリ西貢上海聯絡方
(往電第七七八號參照)及「インピリアル、エア、ウエー」
ヨリ香港上海聯絡方執拗ニ申出テ居ルモ國際航空聯絡方
ツ日本トノ間ニ行ヒ度シト思ヒ孰レモ拒絶シ居レリ一方新
疆省トノ聯絡ヲ急キ居ルモ同方面責任者ノ態度依然煮切ラ
ス同方面トノ聯絡確實トナリタル上ハ貴方トモ話合ヲ始メ
度ク日支航空聯絡ニ關スル政府部内一部ノ抱ケル懸念ハ漸
次薄ラキツツアリト述ヘ居タリ御参考迄

ラルヘキ點ナリト繰返シ述ヘ居タリ
支ヘ轉電セリ

183 昭和9年8月17日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)
日中航空連絡實現方我が方申出に対する交通
部の対応につき李景縱内話について

上海 8月17日後発
本省 8月17日後着

第六六二號

南京發閣下宛電報第七九七號ニ關シ(日支航空聯絡問題)
李景縱ハ來滬中ノ須磨ニ對シ其ノ後朱部長トモ冒頭往電須
磨書翰ニ對スル回答振ニ付協議シタルカ新疆ノ盛世才ノ態
度煮切ラス歐亞聯絡ノ見込立タサルニ付何レ盛ヨリ回答ア
リ聯絡ノ見込着キタル上日本側ニ對シ交渉ヲ開始シ度キ旨
ノ回答ヲ發スルコトトシ夫迄回答ヲ留保スルコトニ打合濟
ナルカ同時ニ朱部長トモ相談ノ上日支間ノ契約ハ前回ノ案
ヨリ更ニ簡單ニスルコト及借款ニ付テモ條件ヲ簡單ニスル
コト然ルヘシトノコトニ打合ヲ遂ケタル旨内話セル趣ナリ

北平、南京へ轉電セリ

184 昭和9年11月3日 在南京須磨總領事より

広田外務大臣宛(電報)

軍部方面の諒解が訖然としないため我が方日中航空連絡実現方申出に対する交通部具体的対応は今少し時期を要す旨李景権内話について

航空連絡実現方申出に対する交通部具体的対応は今少し時期を要す旨李景権内話について

南京 11月3日後発
本省 11月3日後着

第一〇四九號

往電第一〇四一號ニ關シ

上海ニ於テ數回朱家驛ニ會見ノ際モ本件成行ニ付質シタルニ冒頭往電ノ通李景権ヨリ確カメ方答ヘタルヲ以テ二日上海ニ於テ李ヲ往訪シタル處李ハ一般對日感情漸次好轉シ來リ部長モ常ニ貴方ノ申出ヲ眞剣考慮中ナルモ何シロ軍部(支那)方面ノ諒解釋然タラサルモノアリ今少シク時期ヲ待タレ度唯約一箇月前着手シタル龍華飛行場ノ工事ハ工費百萬元ニテ十二月末迄ニハ完成ノ事トナリタルニ付豫テノ百萬元借款ハ不要トナリ双方ノ爲聯絡促進容易トナリタル次

第ナリト答ヘタルニ付本官ヨリ然ラハ新疆經過ノ歐亞航空ノ開始等ヲ俟ツコトナク對日感情ノ好轉ニ資スル趣旨ヨリ出來得ル限り速ニ本件實施方取計ハレタシト強ク申聞ケ置キタリ不取敢

支、北平へ轉電セリ

185 昭和9年11月6日 在南京須磨總領事より

広田外務大臣宛(電報)

從來の方針どおり日本との航空連絡が実現しない限り他国からの航空連絡申出には応じない旨朱家驛言明について

南京 11月6日前発
本省 11月6日後着

第一〇五六號

往電第一〇四九號ニ關シ(日支航空連絡朱家驛ノ談)

「カドガン」ノ來寧ハ「インペリアル、エアーウェー」ノ新嘉坡、香港、上海間聯絡方ヲ申入ルル爲ナリトカ又英國航空武官「ウイロツク」カ「サスーン」ト協力シテ英支航空聯絡實施方ニ努メツツアリトカ傳ヘラレタルヲ以テ五日

會見ノ機會ニ朱家驛ニ訊ネ見タル處朱ハ右ヲ否定シ豫テノ約束通り日本トノ聯絡カ成ラサレハ他國ヨリノ申出ニハ應セサル旨及冒頭往電李ノ談話ト同趣旨ヲ繰返シタル上漸次聯絡ニ好都合ナル狀態ノ展開ニ努メ度キ旨述ヘ居タリ

本件ニ關シテハ機會アル毎ニ鞭撻ヲ怠ラス更ニ對策考究中ナルカ龍華飛行場擴張工事ノ完了ハ見方ニ依リテハ支那側當事者カ狙ヒ居タル一好餌收得ノ機會ヲ逸シタルモノトモ思考セラル
支へ轉電セリ

186 昭和9年11月9日 在南京須磨總領事より

広田外務大臣宛(電報)

交通部は日中航空連絡問題を真剣に研究しており採算上からもその実現を図りたいと考える旨朱家驛言明について

南京 11月9日後発
本省 11月9日後着

二 日中諸案件交渉
第一〇七一號

公使發大臣宛電報第八六五號ニ關シ

九日朱家驛ハ本官ニ對シ來年六月頃米國ハ本土ト馬尼刺トノ航空聯絡ヲ成就スル趣ニテ其ノ上ハ馬尼刺上海間ヲ結ヒ度キ希望ナルヤニ聞及ヒ居ルカ未タ米國側ヨリハ公式ニモ非公式ニモ申出無ク申出アル場合ニモ豫テノ約束通り日本トノ聯絡達成前ニハ之ヲ拒絶スル心組ナリ唯佛國「ユニオンデール」カ同會社ノ巴里西貢線ヲ廣東迄延長方申出テタルモ問題ト爲ラサリシ爲(往電第五六五號參照)更ニ佛支相互飛行ヲ持出シタルカ同様拒否セラレタル處極メテ最近廣東ヨリ河内迄支那側ノミ飛行アリタキ旨中國航空公司ニ申入レ來レル經緯アリ經費ノ關係上目下考慮中ナリト述ヘタルヲ以テ本官ヨリハ第三國ニ對スル考慮ヲ去リ此ノ際日本ト卒先聯絡達成方ヲ強調シ置キタルカ朱ハ貴官屢次ノ御申入モアリ既ニ眞剣ニ研究ヲ始メタル次第ニテ歐亞、中國兩公司ノ合同計算ヲ行ヒテモ月五六萬元ノ損失アレハ採算上ヨリモ日支聯絡ヲ實現シ度シト考ヘ居ルニ付テハ何レ其ノ中何分ノ回答ヲ致スヘシト答ヘ居タリ
支、北平へ轉電セリ

昭和9年12月11日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日中間の特殊關係に鑑み先ず日本との相互飛行による航空連絡実現を図るべき旨朱家驛へ

申入れについて

南京 12月11日後発
本省 12月18日前着

第一一九九號

往電第一一〇七一號ニ關シ

一、十一月三十日本官朱家驛ト會見ノ上返事ヲ督促セル處朱ハ新疆經由問題ヲ片付ケタル上熟考セムト思ヒ居レリト述ヘタルヲ以テ往電第一一一二號ニ「ブリット」等ヨリノ聞込モアリ本官ヨリ蘇側ハ自國領土上ノ飛行ヲ許可セサルヘキニ付右ヲ條件トスルハ不能事態ノ成立ヲ條件トスルニ等シカラスヤト指摘セル處朱ハ「インペリアル、エアウエーブ」ハ歐亞航空公司ニ對シ甲谷陀迄「ユニオング、デール」ハ中國航空公司ニ對シ香港經由馬尼刺迄夫々飛リカン」ハ中國航空公司ニ對シ香港經由馬尼刺迄夫々飛來差支ナキ旨ノ申出アリ和蘭ヨリモ蘭領印度迄飛來シテ

二、本官ヨリ日本ハ曾テ外國會社ニ斯ノ如キ特權ヲ許與セルコトナク又將來モ許與セサルコト明カナレハ日支間ノ片務的連絡ハ問題トナラス相互飛行ヲ以テ根本基礎トスルコトヲ忘ルヘカラス支那側カ右ノ如キ方針ヲ以テ進ムハ日支航空連絡ヲ拒絶スルニ等シト謂ハサルヘカラサル處果シテ其ノ御意思ナリヤト突ツ込ミタルニ

三、朱ハ支那民間航空ノ發展ヲ計ル途ハ二アリ一ハ歐亞航空公司ト中國航空公司カ夫々獨米ノ資本ヲ含ミ居ルヲ以テ六ヶ年ノ契約終了後「ルフトハンザ」ノ有スル三分ノ一米國會社ノ有スル四五「パーセント」ノ利益ヲ買ヒ取り之ヲ支那會社ニ改組スルコトトシ一方北京上海漢口等ノ

飛行場ハ兩公司ニ差別ナク使用セシメ組織ノ單一強化ヲ計ルコト二ハ外國機ノ支那飛來ヲ一切禁止スルコトナリ支那ハ弱國ナル關係上一國飛行機ノ飛來ヲ許可セハ他ヨリノ注文續出スヘク日本飛行機ノ飛來ヲ許セハ英米佛場合ニヨリテハ伊蘭等ヨリモ希望ヲ申出テ來リ支那航空ハ此等諸外國機ノ亂雜ナル競争ニ委セラレテ收拾シ得サル事態トナルヘシ依テ右原則ニ反セサル範圍内ニテ何等力ノ便法ヲ見出シ日支航空連絡ヲ達成スルノ外ナキ次第ナルカ例ヘハ福岡ニ於ケル飛行場及事務一切ヲ日本側會社ニ於テ處理スルコトモ一案ナルヘシ實ハ貴官ノ熱心ナル申入モアリ日本會社ト歐亞航空公司トヲシテ別口ノ航空公司ヲ設立セシムルコトモ考ヘタルカ之モ結局ハ他國ニ對スル關係上困難アルヲ免レスト縷々述ヘタルヲ以テ

四、本官ヨリ右ハ日本ヲ英米其ノ他ト同一列ニ置イテノ議論ニテ經濟上地理上兩國ノ有スル特殊關係ニ顧ミ大局的見地ヨリ他國ニ拘泥セス兩國間ノ連絡ヲ計ルコトノ急務ナル所以ヲ力説セル處朱ハ實ハ英國側ヨリ執拗ニ連絡方申出アリタル際自分ヨリ特殊關係アル日本トモ未タ連絡開始ニ至リ居ラサル旨ヲ述ヘテ拒絕セルニ英國ハ其ノ對支

(須磨總領事歸朝ノ際特參)

188 昭和9年12月11日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日中航空連絡実現のための諸種便法につき季

景権と協議について

南京 12月11日後発
本省 12月18日前着

第一一九九號ニ關シ

一、十日李景樅本官ヲ來訪シ今日貴官一時歸朝ノコトトナリタルニ付至急話合ヲ遂クヘシトノ朱部長ノ命ニ接シ御伺ヒセル次第ナリト前提シ連絡飛行ノ便法ニ付何等カ試案アリヤト尋ネタルヲ以テ本官ヨリ相互飛行ハ鐵則ナレハ先般ノ朱部長ノ御話ハ問題トナラスト述ヘタル處李ハ貴翰受領以來(往電第七九七號)各方面ニ運動中ナルモ時機未夕熟セス日本側ニテ時機到來迄待タレサルニ於テハ何等力便法ヲ設クルノ外ナカルヘク歐亞ノ新疆省經由飛行ノ實現ハ前記空氣轉換機ヲ早ムルコトト思考スルモ實現時期ニ付見當付カサル次第ナリト述ヘ更ニ本官試案ヲ尋ネタルヲ以テ

三、本官ヨリ例ヘハ歐亞公司ニ倣ヒ日支兩國力均等ニ出資シ

日華公司ヲ設立スルコトモ一案ナルヘク又歐亞公司ニ日本ノ「シェア」ヲ入ルルコトモ一方法ナルヘシト述ヘタル

ルニ李ハ實ハ自分モ右ニ考へ及ヒ部長トモ懇談セルカ實現ノ見込薄キニ付他ノ便法モアラハ貴官御歸朝ノ際關係當局ト御研究アリ度私見ナルカ例ヘハ機械員、連絡員

現ノ見込薄キニ付他ノ便法モアラハ貴官御歸朝ノ際關係當局ト御研究アリ度私見ナルカ例ヘハ機械員、連絡員

(須磨總領事歸朝ノ際持參)
ケル再會見ヲ約シテ引取レリ

轉電先 支

三 華北問題

1 一般問題

189 昭和9年1月7日 在青島坂根(準三)總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

青島在留邦人中に山東を第二の満州とすべし
と高唱する者がいるため越軌行動抑止に尽力
の旨報告について

青 島 1月7日後発
本 省 1月7日後着

⁽¹⁾ 第二號(極秘)

滿洲國ノ建設著々其ノ歩ラ進メ殊ニ停戰協定以來北支ニ特別ノ政治的氣運進展ノ情勢アリト見ルヤ山東還附ノ恨覺メス今以テ事每ニ軍政時代ヲ回顧シ内心局面ノ一大轉換ヲ祈リテ已マサル當地多數ノ在留邦人中ニハ輕率ニモ或ハ山東ヲ以テ第一ノ滿洲タラシムヘシト高唱シ或ハ數ケ月中ニ必ス日本陸軍ノ當地派遣ヲ見ル可シト豫言シ廻リ(昨年中頃

認ム

(「パイロット」ニ非サル)等ヲ日本側ヨリ歐亞公司ニ入ルコトハ支那側ニ於テハ異存ナク(獨逸側トノ交渉ハ貴方ニテ行ハレ度シ)又飛行場ハ福岡及龍華ヲ使用スルコトトセハ兎ニ角連絡ノ目的タケハ達成シ得ル譯ナリト述ヘタルニ付

三、本官ヨリ右ハ全然考慮ノ餘地ナキモ例ヘハ日支連絡ニ限リ日本ノ飛行機ヲ使用スルカ如キ案ハ如何ト尋ネタルニ歐亞使用機ハ「ウンケル」ニ限り居リ他ノ型ノ飛行機ヲ入ルレハ管理ニ困難ナリト述ヘタル上實ハ龍華ハ上海市政府ヨリ六十萬元ノ支出ヲ得テ第一次擴張工事ヲ終レルモ更ニ擴張ノ要アル實情ニテ尙數十萬元ヲ要スル次第ニ付何レ更ニ貴官ト種々打合セヲ遂ケ度シト述ヘ上海ニ於ケル再會見ヲ約シテ引取レリ

段ト形勢ノ險惡化ヲ致セルハ遺憾乍ラ否定シ難キ所ナリト